



日本史類名稱訓
完

津田文庫
文庫 1
1775



日本史類名類訓
玉の巻



名称訓

大皇國の史の類名

を以てしはるる先を

し其れを以てし國史略

皇朝史略を以てし漢

を以てしやうく大日本史

ありしを及ぶるを以て

西史略の類名類の

旁訓の類名類あり

古くしはるる事多

りしを以てし目あり

いづく探せたまふ
史をんむらうせん
よあふいふらんほし
とそ伊能の神の名
人のあまいふなま
此の者すうたあくえ
つねの事うはらうのせ
わらう古語のそのあ
ありにうまうはらう
あううはうはらう
いと加へ使うよま

1775

あそそのまうらう抑
は史をんけせまひ
いそまうらうはらう
初をうらうはらう
此あめうらうはらう
ひらめいふうはらう
とそまうけせまひ
されと名祿をうら
よらうらうはらう
あめまうはらう
あえんあめまう

ふうせきまゝ日本紀
 古事記あつらん
 うらつらん
 はは冊子いふらん
 こゝのあつらん史学の為
 益かたうらん
 をあま恋とふらん
 あつらん
 紀の后人中村法矩
 といふ

つだ文庫

日本史類名稱訓



例

○大日本史ハ以テも
 めて多ク御典を
 天神地祇また上古
 天皇等此御名及び
 皇子后妃諸臣の名稱
 地名など後の文字
 つついと異なれハ
 訓注ふくて讀得
 うらつらん

不苦しうてそのま
さしくわくをくし
ありとそ今ハ其幼
稚さ人ハ此為小
神武天皇より
持統天皇の御巻
讀難きもの紙抄出
して旁訓を施さ
史を讀人この冊子
を傍早よかりは探索
此勞と省くハ

○旁訓ハ日本紀の
今本既假名よると
つとて天紀より
次々の注釈ともふ
參攷しませし姓氏録
和名抄等をも見合
せて訂したまハ大
くハ訛謬アヤマリありめま
となは正しあぐぬ
そのも有りなんハ
いふハせん

○この冊子の史の
卷次第を逐て標
をなして社を

神武天皇の御卷小

出たる名稱はそれ

その標の中よりあり

但一たび出せるは

再出さず次そをたと

ハハ

天武天皇の御卷に

よみ難きものありて

その標の中を索ぬ

るは無きを以前小

立よりりて

天智天皇

天皇大友に御卷此

標中小索ぬへさあ

如し

○史ハ全ク藻文ナ

きとも青雲白肩津

榜袞新羅國なとや

うに原文小引きて

幾語マラコトをより阿くぬま
た古言のまゝよく
潤色を加へたるもの
を折あり是等名
稱スゴとる少く異な
まはと漢文よみよは
よむ一つらぬを抄
出して旁訓を加へ
つ
○カラクニヒト韓國人の名およ
い地名官号紀小訓

あつものれを注る
を訓無れとも音
讀なる事いちらる
まの音讀と注は彼
邦音をしりていよと
難イマシヤラヤまの未詳と注は
紀の訓ふをりれく
にの古き称呼の残
れるり多うくをれ
をらの國書を考
つあをばくさ事か

れとそことさひ暇
なくて石もめせ
諸蕃國のもも然
り
○史ハ氏との加婆
禰を皆省きて記さ
社はさるは稱呼の
長き文章のうへ
美しうらふとやう
の事うて省うれ々
るにや然まとも加

婆祢を種族を分ち
貴賤の品を知りて
そのゆてまじなく
ては古代の氏に比
天朝小仕へ奉まらる
さちを委細く知り
かかる一壁ハ書
首書直ハその族も
とちを異なると首
直の加婆祢を去て
單小書氏と稱はる

時々同姓と云ふに
壹岐直ハ神孫
壹岐史ハ蕃種なるを
加波祢小よりてハ如
何別と云ふその他中
臣連齋部首の如き
中臣齋部ハ執掌の
職号の姓となれる
して神小奉仕はる
徒小廣くつり連
首を群下を率ふる

その主宰たる稱を
是則加波祢なるは
省きけりてよりら
めや又蘇我氏を臣
の加波祢なり故
小その姓の人ハ大
臣と云ふ物部氏を
連比加波祢なり
故もその姓の人を
大連と云ふるも
大臣大連ハ後の氏

上よりひとしきもの
なる事も加波祢ふ
らしては辨へらる
くやあらんまゝに海
部直上毛野君出雲
臣々との如き直君
臣等の加波祢を去
ていたく小漁をす
るも此上野出雲ふ
との國人のやうふ
聞えそまゝらばし

されとそまゝに列傳
まてよく見よと
て事れやうをよく
考人々をまゝとふ
無らめを初學
の為ふまゝに省の
さるらうらうら
く思ふればこの
冊子より紀より
て其姓の下ふ加波
祢を加へ川譬境部

雄麻呂紀境中臣鎌足

紀中臣連といたせる類なり

り

○天武天皇の十三

年に諸氏の加婆祢

を八色不定めとす

ひて後ハ上古のれ

もむよと變カれる事

多ク古語拾遺小至

于淨御原朝廷改天

下之万姓而分カ為八

等唯序ラ當年之勞ラズ不

本モト天降之績云々と

以ヨるこの事なり當

年之勞とは近江朝

廷と戦ヒな多シ

壬申の年シテ吉野

此御方カク小カク忝カクれる人

の勞をふくさめは

せきもくる也諸氏

の加婆祢前後同シ

りらさるる此故な

り見む人よくこの
旨を心得てよ

○この冊子
持統天皇小止りて
文武天皇より以下ハ
抄せられたるハ續紀以
下ハは旁訓ふくつ
証をつきものも無
れハ也天皇此御名
謚アキラケハ此後とな
いよーとさまねる

多う社と前の例小
より類をうつして
大くくく讀得へ
奈良朝より以下ハ
の名二字小定まり
て後此ハ中より
よと難さもの所
と拾芥抄より黒河
氏の名字指南など
よりりてこれも大
くくくくくくく

但地名と諸物品の
 名称と小ハヨモヤ
 正々うらぬそのあり
 和名抄また萬葉集
 なともて讀えらる
 も阿毛とそれ小漏
 たるものはもくく
 便なるめをよこの
 後編ふものせん万
 ても暫く博覧の久
 ふつきてたつひよ

ひくしは夏

○天皇の文字古風
 此御名御謚の下に
 依々ハ皆スメラミ
 トとよむし一王字
 ミコと讀へる處あり
 オホキミとよむへき
 所あり此差別今も
 古事記傳の説あり
 りて其ところくよ
 訓を分てり

十
○孝徳天皇以前の
冠位の号ふハ訓まよ
こか^言まもの多ト
其後八省百官の号
ハ古訓を知らん也
おもふ人多北山抄和
名抄等ふつさて尋
ぬ一史をよまらん
よき一も用ふれ
今ハ皆もら一つ
文久壬戌夏

香取 伊能穎則

瓊曲玉ニノカタマ ○ 八咫鏡ヤタカミ ○
 草薙劍クサハル ○ 豐葦原瑞トヨアシハラノミツ
 穗國ホノクニ ○ 天磐坐アマノイハクラ ○ 高タカ
 千穗峯チホノミネ ○ 吾田アタ ○ 大オホ
 山祇ヤマツミ ○ 木華開邪姬コハナサクヤヒメ
 ○ 彦火火出見尊ヒコホホデミミコト ○
 海神ウタツミカミ ○ 豐玉彦トヨタマヒコ ○ 豐トヨ
 玉姬タマヒメ ○ 彦波瀲武鸕ヒコナギリタケ
 鷄草ガヤネ 背不合尊アヘズノミコト ○ 天アマ
 津日高ツヒタカ ○ 日嗣ヒツギ ○ 玉タマ
 依姬ヨリヒメ ○ 吾平津媛アヒラツヒメ ○

長髓彦ナガスネヒコ ○ 饒速日命ニギハヤヒノミコト
 ○ 兄猾エウケミ ○ 弟猾オトウケミ ○ 八ヤ
 十島師トシガシ ○ 兄磯城エミキ ○
 磯城シキ ○ 鹽土老翁シホツツノヲヂ ○
 五瀬命イツセノミコト ○ 天磐船アマノイハフネ ○
 稻飯命イナヘノミコト ○ 三毛入野ミケイリノ
 命ミコト ○ 手研耳命タキシミミノミコト ○ 速ハヤ
 吸門スエド ○ 珍彦ウツヒコ ○ 椎根シヒネ
 津彦ツヒコ ○ 菟狹ウササ ○ 菟狹ウササ
 津彦ツヒコ ○ 菟狹津媛ウササツヒメ ○
 天種子命アマノタネノミコト ○ 崗水門オカノミナト

○埃宮アキミヤ○吉備國キビノクニ○

高嶋宮タカシマノミヤ○浪速國ナニハノクニ○注

岡田宮オウダノミヤ○阿岐國アキノクニ○注
郡理宮ノリノミヤ○橋根津ハシネノツ○河内カチ

草香邑クサカノムラ○青雲白肩アヲクモノミラカタ

津ツ○青雲二字裁○龍田タツタ○話不地名也

膽駒山イユマヤマ○孔舍衛坂クサエサカ

○盾津タテツ○茅渟山城チヌノヤマキ

水門ミナト○竈山カマヤマ○名草ナクサ

邑ムラ○名草戸畔ナグサトバ○熊クマ

野神邑ノカミノムラ○荒坂津アラサカノツ○注

丹敷ニシキ○丹敷戸畔ニシキトバ○高タカ

倉下クラジノ○薨靈劍スミタマノツルギ○頭カブト

八咫鳥ヤマトノトリ○道臣命ミチノオミノミコト○

大来目オホキメ○菟田下縣ウタノシモノアヲタ

○吉野ヨシノ○井光イヒカ○高タカ

倉山クラヤマ○國見岳クニミタケ○女メ

坂サカ○男坂オノサカ○墨坂スミサカ○

磐余邑イハレノムラ○天香山アマノカゲヤマ○

八十平瓮ヤソノヒラカ○天手扶アマノタケミ

○巖瓮イソツバ○丹生川上ニフノカハバ

○真坂樹マサカノキ○顯齋ウツシイヒ○

齋主イハヒメシ○嚴姫イソヒメ○弟磯オトシ

城キ○兄倉エクラシ下オト○弟倉ヲ

下ジ○鷄トビ○層富フタカケ縣カ○

土蜘蛛ツチクモ○新城ニホ戸ト畔バ

○居勢コセ祝ハスリ○猪祝イノハスリ○

高尾張タカハラ邑ムラ○葛城カツラキ○

畝傍山ウネビヤマ○檀原カシハラ○媛ヒメ

踏鞴タラシ五十鈴イソ媛ヒメ○神ヒメ

離ロギ○天富命アメノトミノミコト○齋部イムバ

○天神壽詞アマノカミノコト○可美ウツメ

真手命マテノミコト○内物部ウチモノノベ○注

天日方奇日方命○築坂ツキサカ○申食國政大夫

倭國造ヤマトノクニミヤコ○猛田縣主タケダノアガタヌシ

○劔根ツルギネ○鳥見山トリミヤマ○

腋上アキガミ嘸間ヒマ丘カ○蜻蛉アキキ

之ノ臀ヒデ咕ク○秋津洲アキツシマ○

神渟川耳尊カンスナカハミミノミコト○畝傍ウネビ

山東北陵ヤマノノケノミヤ

綏靖天皇

○神八井耳命カムヤハシノミコト○神カム

渟名川耳天皇ナカハミミノスメラミコト注○健沼ケンヌマ河耳命

○高丘宮タカノカノミヤ○五十鈴イソ

依媛ヨリヒメ○磯城彦玉手シキツヒロタマテ

看尊ミミコト湯支命ユサキノミコト○桃花鳥ウツクシ

田丘上陵タノケノウヘノミサキ

安寧天皇

○磯城津彦玉手看シキツヒロタマテ

天皇タメラミコト○片鹽カタシホ○浮孔ウキアナ

宮ミヤ○淳名底仲媛スナナソコナカノヒメ注ツ

出雲出雲命ミコト○大日本彦耜友オホヤマトヒコスギトモ

尊ミコト○御陰井上陵ミホトナノヘノミサキ

懿德天皇

○大日本彦耜友天オホヤマトヒコスギトモ

皇ミコト○輕曲峽宮カガリノノミヤ注ツ

宮ミヤ○天豐津媛アマトヨツヒメ○觀ミ

松彦香殖稻尊マツヒコカサネ○織オリ

沙谿上陵サノガハノミサキ

孝昭天皇

○觀松彦香殖稻天ミマツヒコカサネ

皇ミコト○掖上ヨシノ○池心宮イケノミヤ

○世襲足媛ヨシノスミヒメ○日本ヤマト

足彦國押人尊 ○掖
上博多山上陵

孝安天皇

○日本足彦國押人

天皇 ○室 ○秋津島

宮 命並訓詳宿禰 ○押媛

○大日本根子彦太

瓊尊 ○玉手丘上陵

孝靈天皇

○黑田 ○廬戶宮

大日本根子彦太瓊

天皇 ○細媛 ○彦國

牽尊 ○片丘馬坂陵

孝元天皇

○大日本根子彦國

牽天皇 ○境原宮 ○

鬱色謎 ○稚日本根

子彦大日日尊 ○劔

池鳥上陵

開化天皇

○雅日本根子彦大

日日天皇 ○春日

率川宮 ○伊香色謎

○御間城入彦尊

春日率川坂本陵

崇神天皇

○御間城入彦五十

瓊殖天皇 ○御間城

姫 ○瑞籬宮 注○建曆心
命大初○安毛

命建美 ○倭大國魂神

豐鋏入姫 ○笠縫色

○淳名城入姫 ○神

浅茅原 ○大物主神

○大田田根子 ○茅

淳縣陶邑 注○美
勢品 ○伊

香色雄 ○長尾市 ○

墨坂神 ○大坂神 ○

大彦命 ○北陸 ○武

淳川別 ○東海 ○彦

五十狹芹彦命イサヒリヒコノミコト○西ニシ

海ウミ○丹波道主命タニハノミチヌシノミコト○意イ

道ミチ○彦坐王ヒコイマス○武埴安彦タケノエヤスヒコ

○吾田媛ウタノヒメ○彦國葦ヒコクニアシ

○男之弭調女之手ヲコノニシヤメノテ

未調スエラミツキ○御肇國天皇ミコトクニニラヌスメラミコト

○活目尊イクメノミコト○豐城命トヨキノミコト

○出雲振根イツモノネ○狹山リヤマ

埴田ハニダ○依網池ヨコミヅ○新ニ

坂池サカヅミ○反折池サカマヅミ古史記酒折池

則是注○任那國ニナノクニ○山ヤマ

桑間宮サキマノミヤ

邊道上陵命ヘノミチノミササキノミコト○高タカ

垂仁天皇タケヒメノミコト

○御諸山ミコトノヤマ○活目入イクメノイリ

彦五十狹茅天皇ヒコノイツノササノミコト

狹穗姬ササノヒメ○纏向マユヅク○珠タマ

城宮キノミヤ○天日槍アマヒトコ○来ク

目高宮メノタカノミヤ○狹穗彦ササノヒコ

八綱田ヤツナダ○當麻邑タケマノムラ

蹶速クハヤ○野見宿禰ノミノスネ

日葉酢媛ヒハクサノヒメ○渟葉田ツナハタ

瓊入媛 ○ 真砥野媛

筋瓊入媛 筋紀作筋按筋筋共前之

誤占事記謂阿耶美能伊理毘賣則是 ○ 大鹿島

○ 十千根 注のト ○ 武

日 ○ 倭姫 ○ 齋宮 ○

五十鈴川上 注の磯城巖榎之下の渡遇

宮 ○ 屯倉 ○ 倭彦命

○ 土像物 ○ 土部職

○ 建真利根命 ○ 石

作大連公 ○ 山背 ○

五十瓊敷命 ○ 高石

池 ○ 迹見池 ○ 大足

彦尊 ○ 石上神宮 ○

河上部 ○ 清彦 ○ 天

日槍 ○ 田道間守 ○

非時香菓 ○ 常世國

○ 菅原伏見陵

景行天皇

○ 大足彦忍代别天

皇 ○ 播磨稻日大郎

媛 ○ 屋主忍男武雄

心命ココロノミコト○日代宮ヒシロノミヤ○熊クマ
 襲ツク○周芳婆磨スハフナサバ○武タケ
 諸木モロキ○菟名手ウナテ○夏ナツ
 花ハナ○神夏磯媛カミナカシメノメ○八ヤ
 尺瓊ヤカニ○八握劍ヤソクノルキ○八ヤ
 咫鏡タカミミ○菟狹川上ウサハノホトリ○
 鼻垂ハナタリ○御木川上ミケノホトリ○
 耳垂ミミタリ○高羽川上タカハノホトリ○
 麻剝アサハキ○綠野川上キナドリノホトリ○
 土折ツチフリ○猪折イノフリ○長峽ナカクラ
 縣ノチ○碩田國オホキタノクニ○速見ハヤミ

邑ムラ○速津媛ハヤツノメ紀無訓今據上文之例
 ○鼠石窟ネツミノイハヤ○青アヲ○白シロ
 ○直入縣ナホリノアガタ○禰野ネノ
 ○打後ウチサトル○八田ヤタ○國クニ
 摩侶マロ○來田見邑クダタミノムラ○
 海石榴ウミザクロ○椎ヅチ○稻葉イナバ
 川カハ○城原キハラ○柏峽大カシハラノオホ
 野ノ○高屋宮タカヤノミヤ○厚鹿アツカ
 文ヤ進鹿文セウカノヤ○市乾鹿イチケンカ
 文ヤ訓注乾ノチニツク○市鹿谷イチカノヤ○
 子湯縣コノヤノクニ○丹裳小野ニモリノノ

○夷守○諸縣君○

泉媛○熊縣○熊津

彦○葦北小島○小

左○冰島○火國○

玉杵名邑○津類○

阿蘇國○御木國○

高田行宮○八女縣

浮羽邑○五百野皇

女○武内宿禰世謂多計能字

遲者非也武内訓多計志美称内宜訓字邊地名大和國有智是也則此宿禰与兄甘美内宿禰所居住之地也 ○日

木武尊○川土梟師

○吉備武彦○大伴

武日紀作武日連○大碓命

○能褒野○武部○

稚足彦尊○八坂入

媛○淡水門○綺宮

通證云疑是飯高郡川股村 ○彦狹島

王○御諸別王○坂

手池○田部屯倉○

高穴穗宮○山邊道

上陵

成務天皇

○稚足彦天皇○君

長○首渠○長○首

○造長○稻置○日

縱○日横○影面○

背面○足仲彦按依例

字○狭城盾列陵

仲哀天皇

○兩道入姬命○足

仲彦天皇○大伴武

以紀武○蘆鬚蒲見別

王○氣長足姫尊○

角鹿○筭飯宮○德

勒津宮○穴門○豊

浦津○淳田門○海

鯽魚○崗縣主熊鱈

○山鹿岬○大倉主

○菟夫羅媛○菟田

伊賀彦○洞海○伊

觀縣主祖五十迹手

列島ヒケシマ伊蘇志イソシ

備縣ビケン檀日宮タンニク膺ウケ

之空國ソラノクニ榜衾ボウキン新羅シンラ

國クニ榜衾ボウキン穴門アナド直踐ナホム立テ

蘇那曷叱智ソナカチチ中ナカ

臣鳥賊津シムツ紀鳥賊キツ津ツ大オホ

三輪ミヅノ大友オホトモ主ヌシ紀大友キオホトモ

物部モノベ膽咋ニゲヒ紀膽咋キニゲヒ連ツラシ小山コヤマ

田邑タノ審神シムカミ千繒チノ鴨カモ

高繒タカノ琴頭尾コトカミノ鴨カモ

別ワケ荷持田村ノリモチノ紀訓注キノツケ村ムラ荷持此ノリモチココ

云能クニノ登利トケ羽ハ白熊シロクマ鷲シウ松マツ

峽宮セキミヤ層增ソノゾク岐野キノ

山門縣ヤマドノ田油津タノ媛ヒメ

夏羽ナツハ火前國ヒノミチノクニ

松浦縣マツウラ玉島河タマシマガハ

裂田溝サカタノ和魂ニギミタマ荒アラ

魂ミタマ依網ヨサミ吾彦ウコヒ男垂ヲコタリ

見ミ伊都縣イトノ深江村フカイノ子負コネ

郡クニ饗原ウケハラ和珥津ワニ飼カヒ

部ベ波沙寐錦ハサミ流助ナガサキ富トモ

利智リチ波珍ハチ干岐ツリカシ微叱ミセ

已知コチ 紀作微叱紀作微叱已知波珍千岐而珍訓登利益波珍新羅言彌登

利其國語也矣 ○高麗コマ ○百濟ハク

内叱官家ウチツミヤケ 注穴門山田注穴門山田 邑紀無叱字是

○表筒男ウハツツノヲ ○中筒男ナカツツノヲ

○底筒男ソコツツノヲ ○長野陵ナガノミヤサキ

應神天皇

○蚊田カシタ ○譽田ホムタ 注大靴注大靴

品陀和氣命ホムタ 去來去來 尊伊谷沙和氣大神尊伊谷沙和氣大神 ○麿坂カコサカ

王ミコ ○忍熊王ニシクマノミコ ○住吉スミノミ

○務古水門ムコミヅカド ○菟路ウツチ

○紀伊日高キイヒカ ○小竹コタケ

宮ミヤ ○難波根子武振ナニハネコタケ

熊クマ 注物部多遲注物部多遲 ○磐余イワノ 注注

宮ミヤ ○五イ ○微叱許智イヒコシチ 通證通證

云東國通鑑云東國通鑑 ○葛城襲津カツラキソツ

彦ヒコ ○斯摩宿禰スマノスネ ○卓トク

淳國ニナクニ ○千熊長彦チクマナガヒコ ○

荒田別アラタワケ ○鹿我別カガワケ ○

久氏クシ ○比自焔ヒシホ ○南ミナミ

加羅カラ ○喙トク ○安羅アラ ○

多羅タラ ○加羅カラ ○南蠻ミナマン

○忱彌多禮○多沙

城サレ訓佐ナ七枝刀カク

○七子鏡○百濟王

肖古セウ三國史記並作照コ

貴須キス東國通鑑作仇シム首秋紀須音主シム

枕流トム子訓勢志レ阿花アクワ東國通鑑東國

○辰斯シム○譽田天ホム

皇ミコト○輕島カレ○豐明宮トヨノアカリノミヤ

○仲姬ノカツヒメ○廐坂道マヤサカノミチ

海人アマ○大濱宿祢オホハマノスネ

紀角キツク宿祢宿祢○羽田矢代ハノヘノヤシノネ

紀八代紀八代○蘇我石川ソゴノイシカハ石紀石紀

川宿川宿○平羣木苑ヘイリノツギノスチ紀木苑紀木苑

○山守部ヤマモリ○枯野カラノ

韓人池カラノイハ○岷南ミナミ○支

信信○谷那タニナ岷南岷南下音讀下音讀○直直

支支三國史記作映支三國史記作映支直韓音登今從映直韓音登今從映○劔池ツルギノイハ

○輕池カレノイハ○鹿垣池カシノイハ

廐坂地マヤサカノイハ○弓月君ユキノキミ

阿直岐アヂキ○荒田別アラタノワケ

巫別カミキキワケ○王仁ワニ○卓素タクソ

○吳服ニハトリ西素サイソ○仁番ニホ

○的戶田イタトラスネ宿祢紀戶田○國カ

櫛人○阿知使主○

都加使主○大隅宮

○兄媛○小豆島○

葉田葦守宮○御友

別○久爾辛○新齊

都媛○吳織○穴織

穴訓阿那与阿耶
通穴織則漢織○菟道稚

郎子○大鷦鷯皇子

○大山守皇子注物部
印葉

○惠我藻伏山岡陵

○新母十齋○水室

○仁德天皇并山

○木兔○鷦鷯○大

鷦鷯天皇○高津宮

○磐之媛命○去來

穗別皇子○壬生部

○葛城部○堀江○

茨田堤○山背栗隅

縣○春米部○和珥

池○横野堤○猪甘

津○丹比邑○感致

石河の鈴鹿の豊
 浦の砥田宿禰の賢
 遺臣の八田皇女
 筒城宮の隼別皇子
 嶋鳥皇女
 依網
 阿弭古の百濟酒君
 百舌鳥野の鷹甘
 部の雁生子注○世三經○日女嶋
 竹葉瀨の田道
 荒
 陵松林の大井川
 倭吾子籠の氷室

宿禰の河内石津
 原の百舌鳥野陵
 菟餓野の猪名縣
 佐伯部の安藝淳田
 吉備中國
 履中天皇
 住吉仲皇子の平
 羣木免紀本免宿禰免前紀作菟の物
 部大前紀大前宿禰の阿知
 使主注○何知直の埴生坂

○大坂オホサカ○飛鳥山下トビノシノ

○當摩路タケノミチ○阿曇連アトモノミ

濱子ハマコ○石上振神宮イソノカミノカミ

○瑞齒別皇子ミツハシノミコ○去イ

來穗別天皇キタノミコ○倭蔣ヤマトノミ

代也倉ヤヤクラ○黑媛クロノヒメ○

蘇我滿智スミヤノミチ○紀宿物モノ

部伊苜弗イモフ紀伊苜弗大連姓
式錄作伊己布都

○葛城圓カキノ紀圓大校之雄略卷
作大臣舊事記作

○市磯池イチイソ○稚櫻ワカザクラ

宮ミヤ○石上溝イソノカミノミヅ○飼部クマカヒ

○草香幡クサノカハ梭シ皇女ミコノメ○

藏職クラシ○藏部クラト○大姫オホヒメ

郎姬ヲウキ○高鶴タカツル郎姬ヲウキ○

百舌鳥ヒトコト耳原陵ミミハラノミヤ

友正天皇トモマサノミコ草香皇クサノカハノミコ

○多遲花タヂハナ○多遲タヂ以シ

瑞齒別皇子ミツハシノミコ注
水齒別命

多治部タヂベ○刺領巾サシネノカミ注
曾婆

加カ埋マ○村合屯倉ムラノイヒクラ○瑞ミツハシ

齒別天皇ハシノミコ○津野媛ツノノヒメ

丹比柴籬宮ニヒノカキ○百舌鳥耳原陵ヒナトリノミミハラ

允恭天皇

○雄朝津間稚子宿

祢皇子ネノミコ○大草香皇

子コ○遠飛鳥宮トホトアスカミヤ○雄

朝津間稚子宿禰天

皇ミコト○忍坂大中姬ニサカノナカノヒメ

刑部オサカハ注注の金波○味耜丘アスカノカミ

○誓神探湯カミカミ○葛城カシノキ

玉田タマノタ○衣通姫ウヱトウヒメ○茅

渟宮ヌノミヤ○日根野ヒネノ○木

梨輕皇子ナリカヒノミコ○輕部カヒベ

部部大前宿禰○輕大娘カヒノオホノニヤ

○長野原陵

安康天皇

○穴穗天皇アナホ注注物部

穴穗宮アナホノミヤ○中蒂姫ナカツツヒメ

眉輪王マユワ○菅原伏見

陵

雄略天皇

○大舍人 ○八釣白

彦皇子 ○坂合黑彦

皇子 ○市邊押磐皇

子 ○御馬皇子 ○泊

瀨 ○朝倉宮 ○大泊

瀨幼武天皇 ○平群

真鳥 ○大伴室屋

物部目 ○幡

倭皇女 ○葛城韓媛

○童女君 ○御馬瀨

○穴人部 ○史戸 ○

河上舍人部 ○河上

小野 ○加須利君 ○

軍君 ○物部兵士 ○

吉備下道前津屋

○吉備田狹

吉備稚媛 ○吉備海

部赤尾 ○樟媛 ○

身狹青 ○檜隈

博德 ○膳斑鳩

紀膳 臣 ○吉備小梨紀吉備臣

○難波赤目子紀難波吉七

○凡河内香賜紀凡河内直

○胸方神今カクカ ○采女ワネノ

紀小弓紀小弓宿祢 ○蘇我ソカハ

韓子カヲコ宿祢 ○大伴談オホトナカ

連 ○小鹿火紀小鹿火大連

對馬 ○匝羅 ○紀岡キノヲ

前米目紀米目連 ○紀大磐石キノオホイソクシ

宿祢 ○近江粟太郡オホツアツミノシリモリノホリ

○白鷺鷄 ○谷上濱タナカミノハマ

○川瀬舍人 ○吳人クニヒト

貴信音読 ○木工鬪鷄コダクミツケ

御田 ○播磨御井隈ハツマノミヅノケ

○文石小麻呂 ○小カスガノ

野大樹紀春日小野臣 ○漢織アヤトリ

○縫衣兄媛弟媛ヌイモノノイモノヒメ

磯齒津路 ○檜隈野ヒノノケ

○大三輪神 ○漢衣アヤキヌ

縫部 ○根使主 ○秦ハタ

氏 ○秦造酒 ○大藏オホツクラ

官 ○漢部 ○伴造 ○

贄土師部ニハノハシ○物部菟モノベノウ

代スネ紀菟代ノイラツ○朝日郎アサヒノイラツ○

穴穗部アナホ注注○汶洲オミ○

久麻那利地クマナリチ○白髮シラガ

皇子ミコ注注○物部モノベ○丹波與タニハ

佐真井原サマナノハラ○豐受大ユケオホ

神カミ○度會郡山田ワタラヒノホリヤマタ○

文斤モノノム○昆支王クニシキワウ○末スエ

多タ○安致臣ヤシチノミ○馬飼ウマカヒ

臣オミ○東漢掾トウカンケン直直紀掾キケン○

星川王ホシカハシノミコ○民部タミノベ○吉キチ

備尾代ビオシノロ紀吉ノキキチ○史部シノベ○

一事主神ヒトコトメシノカミ○来目水クニメノミヅ

池津媛イケツツヒメ○石河楯イシカハノタテ

○来目部クニメノベ○大津馬オホツツウマ

飼カヒ○菟田ウツタ○鳥養部トリカヒノベ

○猪名部真根イナノベノマネ○丹ニ

以高ヒノタカ鷲原陵ウツノハラノミササキ

清寧天皇

○磐余イハレノ瓊栗シカゲリ○白髮シラガ

武廣國タケヒロクニ押稚オシワカ日本根ヤマトノネ

子コノ天皇スメラミコト○隼人ハヤヒト○白シラ

髮部カミノ舍人トネリ○膳夫カシハテ○

鞠ユケヒ負イ○伊與來目部ヨククバ

小楯コタテ○億計王オケミコ○弘フ

計王ケミコ○赤石縮見屯アカシノミツミヤ

倉首クラノオヒ○忍海部細目オシミミヘノミヤコホソメ

紀忍海部造注○飯豐王○角刺宮○
山部小楯○針間國○志自牟○按飯

豐王紀作皇女又女王古事記
作王者恐非作女王者義勝乎○坂サカ

門原陵トハラノミヤギ注注の

顯宗天皇ケンシュウノミコ

來目稚子クメノワカゴ注注の表都之
石築別命

○萇媛ハエヒメ○帳内トネリ○日ヒ

下部使主カバノオミ○吾田彦アタヒコ

○丹波余社郡タニハノヨサチノホリ○田タ

疾來トク注注の田○縮見山シヅメヤマ

石室イハヤ○赤石郡アカシノホリ○丹タニ

波小子ハノコ○伊儺武斯イナムス

廬ロカ笥ハシ簸ハシ沂シ比野ヒノ儺ナ擬ギ

寐ミ逗ツ愈ユ凱ケ麼マ儺ナ弭ヒ企キ

於オ己キ陀タ智チ曾ソ能ネ泥ネ播ハ

宇世ウセ儒ニ○倭者ヤマトノヒト彼ソノ彼ソノ

茅原淺茅原弟日僕

是也○石上振之神

杉伐本截末於市邊

宮治天下天萬國萬

押磐尊御裔僕是也

○飯豐青皇女○忍

海飯豐青尊○近飛

鳥八釣宮○弘計天

皇○難波小野王當

小野女王而紀
无女字恐脫乎○來田綿紋

屋野○山部連○狹

狹城山君韓侻注○山
代新羽

井○阿閉事代紀
阿閉

○福草部○傍岳

磐坏丘陵イハツキ
ラカニミヤキ

仁賢天皇

○大脚○島郎注大為
島樞

○紀大磐紀生磐宿
祢○大訓

於保生訓於布以其相
近而誤雄略紀作大磐是

帶山シドムレ

城紀訓蓋
韓語○石上廣高

宮○億計天皇○春カス

日大娘ガノホイラメ ○石上部舍イソノカミヘ トネ

人リ ○的岐島イノシマ 紀的紀的 ○穗ホ

免君ベンキミ ○佐伯部サヘキベ ○佐サ

伯部仲子ヘキベナカコ ○佐伯造サヘキノミヤヅ

○難波日鷹ナニハヒトカ 紀日鷹紀日鷹 吉士吉士 ○

湏流枳スルキ ○奴流枳ヌルキ ○

小泊瀬コハツセ 稚鷯ササキ 鷯尊ササキミコト ○

埴生坂本陵ハニフサカモトノミヤキ

武烈天皇

○平羣真鳥ヘイグリンマコト 紀真鳥紀真鳥 大臣大臣 ○

鮪シビ ○大伴金村オホトモノカネムラ 紀金村紀金村 ○

泊瀬列城ハツセリキ ○小泊瀬コハツセ

稚鷯ササキ 天皇ミカド ○春日カハルヒ

娘子メノコ ○城像キリカガミ ○水派ミヅハ

邑ムラ ○嶋シマ 紀嶋紀嶋 ○小泊瀬コハツセ

舍人トネリ ○斯我君シガキミ ○傍カタ

丘磐坏丘陵ウツクハヒキ

繼體天皇

○男大迹王ヲオホシロノミコ ○彦主ヒコヌシ

人王ヒトノミコ 注注 ○若野ニガノ 二依皇子ニヨミコ 大郎オホノヲ ○意富イフ 等王トウノミコ ○三國君ミクニノキミ ○

三國鎮人の梶子玉の
車持別命の私斐玉

○三國坂中井○振

媛○高向○倭彦王

○丹波桑田郡○物

部鹿鹿火紀鹿鹿
火大連○巨

勢男人紀男人大臣
注。淡海國○河

内馬飼荒籠○樟葉

官○男大迹天皇注。
彦太

尊○手白香皇女○

日子媛○稚子媛○

廣媛○麻績娘子○

關媛○倭媛○美媛

廣媛注。久羅麻
致岐彌○山背筒

城○哆唎國守穗積

押山紀穗
積臣○上哆唎

下哆唎於古之安
留之雜語○婆池

○牟婁○姐彌文貴

○洲利即爾○五經

博士段楊爾○伴跋

○己汶○帶沙訓未
詳勾

大兄皇子○麻呂古

○匝布○汶慕羅

漢高安茂アサカワアサモ○灼莫加

未詳○斯那奴阿以多

未詳○弟國オトクニ○玉穗宮タマホウミヤ

○近江毛野アワミノクヌ○筑紫ツクシ

國造磐井イハシ○筑紫君ツクシノキミ

葛子カシ○糟屋カス○加羅カラ

多沙津タサツ○物部伊勢モノベノイセ

紀伊キイ○父根吉士老ウチネキシノキナシ

勢連セツレン○已能末多干イノノマタカン

岐キ○水間城ミヅマノキ○膽瓊ニハシ

殖ウツ○藍野陵アヲノハシ

安閑天皇ヤスノカミ

○勾大兄廣國押武フナノオホニヤウキ

金日天皇カナヒノカミ○勾金橋フナノカネハシ

宮ミヤ○春日山田皇女カスガノヤマノミコノ

○沙手媛サテノヒメ○香香有カガリ

媛ヒメ○宅媛ヤカノヒメ○伊甚屯イシノミ

倉クラ○小墾田屯倉コノケノタノクラ

田部タベ○櫻井屯倉サクラヰノクラ

難波屯倉ナニハノクラ○鑽丁ウツリノボロ

三島ミミ○笠原使主カサハラノシノミ

紀笠原直

○小杵フキネ○上毛野ウミツノ小

熊クマ野ノ君ノ○横濤ヨコタウ○橘ダイダイ

花ハナ○多水タスイ○倉櫟クラス○

勾カカリ舍ノ人ト部ノ○勾カカリ勒ノ負ヒ

部ベ○穗波ホナ○鎌カマ○豐トヨ

國クニ勝シ碕サキ紀勝作勝通語云勝當作碕○桑クハ

原ハラ○肝等カト○大拔オホヒキ志詳

○我鹿アガ○火國ヒノクニ春日カスガ

部ベ○播磨ハツマ越部エビノ○牛ウシ

鹿カ○吉備キヒ後國ノチノクニ後城ノチノシロ

○多禰タネ○未履ミツメ○葉ハ

稚ワカ○河音カノ○婀娜ノナ國クニ

膽殖タニシ○膽年タニシ部ベ○阿ア

波ナミ春ハル日ヒ部ベ○紀國キクニ經ノ

湍ハヤシ○河邊カノヘ○丹波タニハ蘇ソ

斯岐シキ○近江ノミ葦浦アシウラ○

尾張オウゾウ間敷マシキ○入鹿イロカ○

上毛ウミツ野ノ綠野キナンド○駿河ウツリガハ

稚贄ワカヒ○犬養イヌカヒ部ベ○櫻サクラ

井田イノ部ベ連レン○縣ノ犬養イヌカヒ

連レン○難波ナニハ吉士キジシ○媛ヒメ

鳴松ナリマツ原ハラ○舊市イロイノチ高屋タカヤ

丘陵

宣化天皇

○檜隈高田皇子注

高カガ武小廣國押盾

天皇○檜隈廬入野

○蘇我稻目紀稻目

阿部火磨紀火磨言臣火

橘仲皇女○筑紫郡

津○磐○狹手彦○

身狹桃花鳥坂上陵

欽明天皇

天國排開廣庭天

皇○物部尾興紀尾興

○石姬○己知部○

磯城島金刺宮○秦

伴造○祝津宮○許

勢稻持紀許稚綾姬

皇女○日景皇女○

堅鹽媛○小姊君○

糠子注小扶南音読

樂名 ○津守連 ○蕭慎

○御名部崎 ○膳巴

提便紀藤 ○下部東城

子言下部東城未詳子言音読 ○德卒

汶休麻那德卒韓之爵訓未詳汶休麻那音読

○馬津城 ○德爾卒

○移那斯 ○麻都注○阿贊

移那斯位養林都阿比多 ○漢城 ○平

壤 ○箭田珠勝大兄

皇子 ○明音讀 ○中臣

鎌子紀中臣連 ○向原 ○難

波堀江 ○茅渟海

溝邊直 ○樟勾宮

王辰爾 ○船史 ○餘

昌 ○渟中倉太玉敷

尊 ○德率東城子莫

子 ○奈率韓之爵 ○王柳

貴 ○固德馬丁安固德韓之

○僧曇惠 ○僧道亦壽

深 ○施德王道良施德亦壽

○奈卒王有悛陀

施德潘量豐 ○固德

下有陀○施德三斤

○季德已麻次季德亦爵

李德進奴○對德進

陀對德亦爵○內臣○

函山城○惠○穗積

般弓紀般○白猪屯倉

○阿倍臣○佐伯連

○播磨直○筑紫次

君○彌氏津○兒島

郡○葛城山田瑞子

○田令○韓人○大

身狹屯倉○高叢人

○小身狹屯倉○海

部屯倉○更荒郡○

紀男麻呂紀男麻呂○河

邊瓊岳紀河邊○調伊企

儼紀調○智聰○泊瀨

柴籬宮○東漢糠兒

○膳傾子紀膳○東漢

坂上子麻呂紀坂上○錦

部大石紀錦○相樂館

○坂田耳子郎君○
古市○檜隈坂合陵
○秦大津父○紀伊
郡深草里○賀茂神

敏達天皇

○淳中倉太玉敷天
皇○百濟大井宮○
物部弓削守屋紀馬子
○蘇我馬子宿祢
○老女君○吉士金

子○吉吉木蓮子○
吉士譯語彦○多多
羅○須奈羅○和陀
○發鬼○海部王○
絲井王○譯語田○
幸玉宮○豐御食炊
屋姬尊○日記部○
私部○大別王○小
黑吉士○菟道皇女
○綾糟○紀國造押
勝○吉備海部羽島

紀海部直 ○葦北國造子日

羅 ○鹿深臣 ○佐伯

連 ○中臣勝海 紀勝海連

坂田耳子王 ○橘豐

日皇子 ○廣瀨 ○磯

長陵

用明天皇

○大兄皇子 ○橘豐

日天皇 ○池邊雙槻

宮 ○酢香手姬皇女

○穴穗部間人皇女

○石寸名 ○三輪逆

○迹見赤檮 紀三輪君 紀跡見首

○磐余池上陵 ○磯

長陵

崇峻天皇

○穴穗部皇子 ○佐

伯丹經手 紀佐伯連注舟經繩手按舟丹之誤

○土師磐村 紀土師連 ○的

真齒 紀的臣 ○宅部皇子

○泊瀨部ハツセ天皇ノスラミト○倉クラ

梯官ハシノミヤ○小手子サテコ○近チカ

江滿エミツ紀近江太子ノミナト○突人ツキト

雁カ紀突ノミ○巨勢比良夫コセノヒラフ

勢臣セ○狹臣サチ太子傳曆作ノミ○

大伴オホトモ嚙カミ紀嚙ノミ○葛城烏カサキ

奈良ナラ紀烏奈ノミ○吉士磐キシイハ

金カネ○倉梯岡陵クラハシノカケノサキ

推古天皇

○額田部ヌカタ皇女ノミ○豐トヨ

浦宮ウラミヤ○豐御食炊屋トヨミケノヒヤ

姬天皇ヒメノミカド○厩戸皇子ウマヤノミコ

難波荒陵ナニハノアラノカ○惠慈ケイジ

○惠聰ケイソウ僧名ノミ○蘇我善スガノヨシ

德トク紀善德ノミ○法興寺ホフキョウジ

觀勒カンラク○僧隆ソウリウ○雲聰ウンソウ

以上イジョウ音讀オンドク○阿佐アサ○境部臣サカイノミ

○穗積臣ホヅミノミ○坂本糠サカモトノシロ

手テ紀坂ノミ○耳梨行宮ミミナシノカミヤ○

來目皇子クミノミコ○常麻皇トコマノミ

子コ○小墾田宮コウケンタノミヤ○鞍クサ

作鳥ツクリトリ○元興寺ゲンキョウジ○壬

生部ナマベ○小野コノ妹子メコ野臣ノノミ

○鞍作福利クサツクリフクリ○高市タケチノ

池イハ○藤原池フジハラノ○肩岡カサノ

池イハ○菅原池スガハラノ○粟隈アワケ

溝クサリ○戸苜池トカノ○依網ヨシミ

池イハ注○三五〇○斐世清ヒセノ

讀音○難波雄成ナニハノ紀難波紀難波

○中臣宮地ナカトミノミヤノチ烏麻呂ウマロ

紀宮紀宮○大河内オホカハノ糠手ヌカテ紀大紀大

直直○船王平フネノミチノ紀船史紀船史○名音讀

額田部ヌカタノ比羅夫ヒラウ紀額田紀額田

○海石榴市ウミシロノチ注注物部物部鎌鎌

○難波德摩呂ナニハノトクマロ紀難波紀難波吉七吉七

○船龍フネリウ紀船史紀船史○菟田野ウタノ

○掖上ウツカミ畝傍ウネノ○和ワ

珥ミミ○犬上御田イヌノミミ鋤ク

矢田部ヤタノ造ツクリ注注矢田部矢田部御御

古古○掖玖人ウツクノ○神戶カヌヘ

郡コホリ○蒲生河カマフシノ○檜隈ヒノケ

陵ミサキ○葛野秦寺カノノハシマツチノ○四

天王寺テンノウジ普說普說下下○慧齊ケイサイ無訓者同無訓者同

○慧光ケスシ○醫慧日ケスシ○

福因キジ○吉士倉下クラジ○

中臣國紀中○河邊禰紀中

受紀河物部依網紀河乙紀河

等紀依波多廣庭紀波

○近江脚身飯蓋紀脚

○平羣宇志紀平○大オホ

伴連トモムラシ○大宅軍紀大

鞍作部德積紀大○阿曇アツミ

連ムラシ○慧觀ケスシ○蘇我蝦スミヤ

夷ヒメ○田村皇子タムラ○山ヤマ

背大兄皇子シロノオホエノミコ○竹田タケタ

皇子ミコ○竹田陵タケタノミヤ

舒明天皇

○押坂彦人大兄皇オシサカノヒコオホエノミコ

子コ○糠手姫皇子ヌカテノヒメミコ

境部摩理勢サカヒノオモリセ○紀摩理勢臣

息長足日廣額天皇オキナガタラシヒヒロノオホノケラミコ

注○廣額天皇ヒロノケラノミコ

○高市天皇タカシノミコ○田部連タベノムラシ

寶皇女タカラノヒメ○蘇我法提スミヤノホテ

郎女イラツメ○藥師慧日クサシ○

飛鳥岡岡本宮アスカノヲカノモトノミヤ○義

慈アホトモ○豐璋トヨシマ○有間温アヒマノイヌ

泉イ○高表仁タカヒタニ○大伴オホトモ

馬養ウマカヒ紀大紀大○吉士雄麻キシヲイ

呂ロ○黑麻呂クロマロ○田中タナカ

宮ミヤ○上毛野形名カミツケノキミカタナ紀上紀上毛野毛野

君君○百濟川上クハラカハノホトリ○慧

隱イ○慧雲ヱン○伊豫温イヨノイヌ

泉イ○廐坂宮ウマザカノミヤ○高向タカムケ

玄理クワリ紀高向紀高向○清安セイアン○

滑谷岡ナハガサノオカ○押坂陵オシザカノミサキ○

皇極天皇スメラミコト

○茅渟王チヌノミコ○吉備姫キヒノヒメ

王ミコ○高向王タカムケノミコ○漢皇アヤノミ

子コ○天豐財重日足アメトヨタカライカシヒタラシ

姫ヒメ天皇スメラミコト○入鹿イルカ紀蘇紀蘇○
我臣我臣

津守大海ツモリノムラシオホアヲ紀津紀津○國勝クニカト

水鷄クヒナ紀國勝紀國勝○草壁真クサカベノキミマ

跡ト紀草壁紀草壁○坂本長兄サカモトノナガニカエ

紀坂本紀坂本○翹岐タカサキ○安曇アツミ

山背連ヤマセノムラシ依例連加婆依例連加婆○南ミナ

淵河フチカハ○達率長福○

百濟大寺クハラノオホテラ○小墾田ヲハリタ

宮ミヤ○飛鳥板蓋新宮アスカイタノニヒミヤ

○茨田池アサタノイ○吉備島キヒノシマ

命ミコト○土師猪手ハシノサウラシ井ア 紀土師婆連猪手

○檀弓岡マコシヲカ○古人大フルヒトオホ

兄皇子エノミコ○巨勢德太コホノトコタ

古ラオミ 紀德太古臣 ○中臣鎌足ナカトミノカズリ

紀或作鎌子連或作鎌足連 ○大伴長德オホトモノチカト

孝德紀曰大伴長德連字馬飼即止与馬養同人 ○中大ナカオホ

兄皇子エノミコ○蘇我倉山ソノガクラヤ

田石川麻呂タノシカハ 紀作倉山田麻呂臣而下

文云倉山田石川麻呂 ○輕皇子カサノミコ

孝德天皇

○天萬豐日天皇アノヨロトヨヒノスメラ ミコト

阿部倉梯麻呂アベクラハシマロノオホネ 紀作阿部内麻呂臣

而下文云倉梯麻呂大臣 ○間人皇女ハシヒトノヒメ

○小足媛コタラシヒメ ○乳娘チイラメ

三輪栗隈東人ミワノウリクノキミトシノヒト 紀栗隈君

馬飼造カマカヒノミヤツコ ○倭漢比羅ヤマトノアヤノアタヒシラ

夫ツ 紀作倭漢直倭字或作東訓同 ○忌部イミベ

子麻呂紀忌部首 ○吉備笠

垂紀笠臣 ○菟田朴室古

○高麗宮知ナニハ ○難波

長柄豐碕宮スダリ ○村主

○子代離宮注狹屋部邑 ○

鹽屋鮒魚カミコソノサキ ○神社福

草クサ ○朝倉君アサクラノキミ ○梳子マリコ

連ムラシ ○三河大伴直ミカハオホトモノアタヘ ○

蘆尾直アシヲノアタヘ ○子代入部ミコシロイリ

○御名入部ミナノイリ ○蝦蟇カハル

離宮トミヤ ○武庫行宮ムクノイリ ○

小郡宮コノノミヤ ○倭漢荒田ヤマトノアラタ

井イ以羅夫イロウ ○淳足ジュク

柵サシ ○柵戸サシド ○中臣押ナカノミナシ

熊クマ連リ ○大阿食金春オホアノケノカハル

秋アキ ○磐舟柵イハフネノサシ ○

日向ヒナカ ○三輪邑ミツルノチ

夫ウ輪リ ○沙唎部沙食サハノサノケ

金多遜カネタノシ ○掃部角麻呂サウボウノカクマロ ○

味經宮ミナトノミヤ ○穴門國アナドノクニ

司草壁醜經シクサノカキノシノスネノキ ○吉

士長丹 ○ 吉士駒 ○

高田根麻呂 ○ 紀高田首 ○ 掃

守小麻呂 ○ 紀掃首 ○ 薩麻

竹嶋 ○ 紀云薩麻之曲竹嶋之門 ○ 門部

金 ○ 河邊麻呂 ○ 紀河邊臣 ○

土師土德 ○ 紀百舌鳥土師連土德音讀乎 ○

大坂磯長陵

齊明天皇

○ 膽駒山 ○ 住吉松

嶽 ○ 及喰彌武 ○ 柵

養 ○ 津州 ○ 膳葉積

紀膳臣 ○ 坂合部磐鋏 ○ 紀坂合部

連 ○ 注 ○ 後飛鳥岡本

宮 ○ 田身嶺上兩槻

樹下 ○ 兩槻宮 ○ 天

宮 ○ 佐伯栲繩 ○ 紀佐伯連 ○

難波國勝 ○ 紀難波吉七 ○ 間

人御殿 ○ 紀開人連 ○ 依網稚

子 ○ 紀依網連 ○ 阿曇頰垂 ○ 紀阿曇連

○ 津樞倭 ○ 紀津臣 ○ 齒田

蝦夷恩荷 ○ 淳代 ○

津輕ツカ○沙尼具那サニクナ紀或

奈真那按蘇我赤兄スガノアカノミ紀赤

尼那通音○平浦ヒラウラ○後方筆蹄コノノシ

坂合部石布サカヘベ前与磐

○津守吉祥ツモリノキムシ紀津守連

○佐平鬼室福信サヘヒキムシフクノブ吉祥音読

○餘豐ヨトヨ○科野シノノ○大伯オホノ

海○伊豫熟田津石イヅノシツタ

湯行宮ユカミヤ○娜大津ナオホツ

磐瀨行宮イハセミヤ○長津ナガツ

○紇解ツカキ○朝倉社アサクラヤシ○橘キハチ

廣庭宮ヒロニワミヤ○耽羅タラ○阿ア

波伎ハキ○小市岡上陵コイチノカミノミヤ

天智天皇テンチノミカド

○佐伯子麻呂サヘノウラシマ紀佐

葛城稚犬養網田カサネノシノイヌノカミ紀稚

○漢直カンチク○阿曇比羅アツミヒラ

夫ウツ紀比羅○河邊百枝カノヘノヒヤクエダ

○阿倍引田比羅アヘノヒキタヒラ

夫ウツ紀比羅○物部熊モノベノクマ紀

連ムスヒ○守大石モリキタシ紀守

井檳榔紀狹 ○朴市秦エチハクノミヤツ

田來津紀秦造无 ○岸キシ

田麻呂紀岸 ○續守言田臣

○上毛野稚子紀上毛野君

○間人大蓋紀間 ○臣コ

勢神前譯語紀神前臣 ○三

輪根麻呂紀三 ○大宅オホヤサオミ

鎌柄紀大宅臣 ○白村江 ○

佐平余自信 ○達率

木素貴子 ○谷那晉

首 ○憶禮福留 ○大オホ

海部皇子 ○氏上 ○

民部 ○家部 ○善光

○劉仁願注○劉仁軌 ○郭

務棕 ○蘇我連注○連子臣按腕子

○水城 ○佐平鬼

室集斯 ○荅本春初

○四比福夫 ○劉

德高以上音讀 ○境部石積

○峽彌針間紀峽

○姑如姑紀 ○司

馬法聰 ○大野 ○椽

紀作 伊吉博德紀伊 及掾吉連

笠諸石紀實 倭高安

讚吉屋島 金田

○天命開別天皇

倭姬 遠智娘 姪

娘 橘娘 常陸娘

○蒲生野 布勢耳

麻呂紀道 久麻貴

山科野 吉士小鮪

斑鳩寺 河内鯨

○賈邇野 山御紀河

井井 蘇我赤兄紀赤 兄兄臣

巨勢人紀人 中臣金

連紀金 李守真 沙宅

紹明 蘇我果安紀果 安臣

○紀大人紀大 人臣 黃書

本實紀黃書造 比智島本實音読

○山科陵

天皇大友

○伊賀皇子 伊賀

采女宅子娘 荅煉

春初焯上文 ○吉大尚

○許率母 ○阿曇稻

敷紀阿 ○村國男依紀村

○和珥部君手紀和珥

○身毛廣紀身 ○不破紀身

道 ○大分惠尺紀大

高坂王 ○三宅石床

書藥紀書 ○忍坂大麻

呂紀忍 ○穗積百足紀穗

弟百枝注五 ○物部

日向紀物 ○佐伯男紀佐

樟磐手紀樟 ○栗隈

王 ○當摩廣島紀當

大伴吹負紀大 ○稚狹

王 ○坂本財紀坂 ○壹

岐韓國紀壹 ○大津

丹比 ○衛我河 ○来

目鹽籠紀末 ○山部王

○犬上川 ○羽田矢

國紀羽 ○大野果安紀大

○乃樂山 ○八口

田邊タノヘ小隅コノサキ○田中タナカ足タリ

麻呂アサヒ○倉クラ歷リ○刺サシ

萩野ハギノ○息長オキナガ横河ヨコガハ○

秦友ハタトモ足タリ○鳥籠トリカゴ山ヤマ○

葦池アシイケ上ノヘ○犬養イヌカヒ五十イ

君キミ○村屋ムラヤ○廬井イホノ

鯨クジラ井造ノリ○三輪ミヅノ高市タカチ麻マ

呂ロ○置始オキシ菟ウ○

著陵ハシノ○社戸コトノ大口オウチ○

○土師ハシ千島チシマ○安ヤス

河上カガハ○栗太クリモト○瀬田セタ

○智尊チミ○大分オホノ稚臣ニギヒ

○三尾城ミノキ○谷鹽ヤノシホ

手直テナ○粟津市アヅツ○物モノ

部麻呂ベノマロ○山前ヤマサキ

天武天皇

○蘇我安麻呂ソノミヤス○

次田スキ生磐ナノ○朴井雄ウツノ

君キミ井連ノリ○島宮シマミヤ○安八ヤスヤ

磨郡マノ○湯沐令ユウボクノ○多オホシ

品治ホムチ臣ノミ○黄書キナシ大伴オホトモ

紀黃書連 ○逢志摩紀連 ○鷗

野皇女 ○草壁皇子

○忍壁皇子 ○縣犬

養大伴紀縣犬 ○佐伯

大目紀佐伯連 ○大伴友國

紀稚櫻部臣五十瀬旁訓 伊保世持統紀五百瀬 ○書根

麻呂紀書首 ○書智德紀書直

○山背小林紀山背直 ○山

背部小田 ○安斗智

德紀安斗連 ○調淡海紀調首 ○

津振川 ○菟田吾城

○大伴馬來田紀大伴連 ○

土師馬手紀土師連 ○甘羅

村 ○大伴朴本大國

紀朴本連 ○美濃王 ○大野

○隱郡 ○横河 ○伊

賀郡 ○中山 ○荊萩

野 ○積殖山口 ○高

市皇子 ○民大火紀民直

○赤深德足紀赤深造 ○大

藏廣隅紀大藏直 ○坂上國

麻呂紀坂上直 ○古市黑麻

呂 ○竹田大徳 ○膽

香瓦 安倍紀勝香 ○鹿

深 ○大山 ○鈴鹿注。田原

股 ○三輪子首紀三輪君 ○

高田新家紀高田首 ○川曲

坂本 ○三重郡朝明

郡 ○迹太川上 ○大

津皇子 ○難波三綱

紀難波 ○駒田忍人紀駒田勝勝

訓方佐姓氏録卷勝訓八多乃方佐依之 ○山邊安

麻呂 ○小墾田猪手

○渥部眠枳注云眠本書作賦今極部兼

永本及親日本紀訂之紀訓志伎 ○根金身ネシシカホ

紀根連 ○漆部友背紀友作友

○和甞 ○安斗阿加

布紀阿斗連 ○桑名郡 ○小

子部鈕鉤紀小子部連 ○野

上 ○坂上熊毛紀坂上直 ○

飛鳥寺 ○三輪高市

麻呂紀三輪君 ○賀茂蝦夷

紀鴨 ○龍田 ○大坂 ○

石手 ○平石野 ○紀

阿閉麻呂紀紀 ○紀大

音紀紀 ○懼坂 ○玉倉

部邑 ○出雲拍紀出 ○

境部藥紀境 ○金綱井

○葦池 ○粟津岡 ○

筱浪 ○飛鳥淨見原

宮 ○天淳中原瀛真

人天皇 ○龜石郡 ○

川原寺 ○久麻藝 ○

都羅宇麻 ○紀堅麻

呂紀紀臣詞 ○忍海大國

紀忍 ○大伴御行紀大 ○

佐伯廣足紀佐 ○間人

大蓋紀間 ○曾禰韓犬

紀曾祿連龍田豆野 ○廣

滿沙伎理梁通證云濼隙

為梁野取魚也 ○麻績王 ○大

伴國麻呂紀大 ○三宅

入石紀三宅 ○久麻伎

與久麻 ○飽波郡和名抄平

屋恒王 ○物部麻

呂紀物 ○山背百足紀山

○村田名倉紀村田史○血

鹿島カシマ○河邊百枝紀河邊臣

○丹比麻呂紀丹比君○倉

梯川上トホチノヘ○十市皇女

○忍海能麻呂紀忍海造○

臘子鳥ラチトリ○越智チチ○迹

驚淵上オドロキノヘ○迹見驛トミミヤ○

縵忍勝マニシキ紀侵造○倭馬ヤマトノウマ

飼部連カヒベノミ紀馬飼部造○上光

欠カケ紀上寸主按寸者村之省文姓氏錄上村主是也光欠紀訓加

從馬シヨウバ○多彌島タヤシマ○藥師ヤクシ

寺テ○羅城ラジヤウ○橘寺タチバナノテ

活田イキタ○白巫鳥シロヒトリ○朝アサ

孀ツマ○向小殿ムカシノミヤ訓赤○内ウチ

安殿ヤスミドノ○外安殿トノヤスミドノ○大オホ

極殿キョクテン○川島皇子カハシマノミコ○

忍壁皇子ニサカベノミコ○廣瀨王ヒロセノオホキミ

○竹田王タケタノオホキミ○桑田王クハタノオホキミ

○三野王ミノノオホキミ○上毛野カミツケノキミ

三千野君ミヤチノキミ○忌部首イハベノムラシヒ

紀天武九年忌部首小首賜姓曰連小首今作者誤○

阿曇稻敷アツミノシネ紀阿曇連○難波ナニハ

大形オホカタ紀難紀難○中臣大島ナカノミミ

紀中紀中○平群子首ヘラヒノミコ紀平群紀平群

首難波吉士ウツナヒノキキ今為忌部連イマニイミベノツラシ難波連ナニハツラシ

之類シノリ与前不同者マヘニフナヒナリ以下往々有焉イタドシニオモヒ

以天武紀云改諸氏之族姓ヤマトノヒメノキニ作シ色之姓シノリ以混天下シノリ百姓シノリ曰真人シノリ

二日朝ニヒノアサ臣三日宿ミヒノヤ祢四日忌ヨロヒノイミ寸五日スニヒ道師ミチノシ六日臣ムロノミ七日連シノリ八日相シノリ置シノリ也シノリ

○采女筑羅ウネメノメ羅シノリ紀采紀采○當シノリ

摩楯マシ紀當紀當○佐伯廣足サヘノヒロタリ

伯連シノリ○小墾田麻呂コウケンテンマロ紀小紀小墾田墾田

○廣瀨野行宮ヒロセノヤミヤ

白茅シロヤシ鳥トリ鳴ナリ紀作紀作○境部サカイベ

石積イシツキ紀境紀境○丹比島ニヒノシマ紀丹紀丹比真比真

人ヒト○伊高岐那イタカキナ○日ヒ

高皇女タカミメノミコ○鏡姬王カガミメノミコ○

伊勢王イセノミコ○大伴安麻オホトモノヤスマ

呂ロ紀大紀大○高向麻呂タカムラノオシマロ紀高紀高向臣向臣

○都努牛飼ツツノウシカヒ紀都紀都努臣努臣○三ミ

輪引田難波麻呂ワリヒキタナニハツラシ紀引紀引田君田君

○桑原人足クワハラノヒトタリ紀桑紀桑原連原連○縣シノリ

犬養手イヌカテ緤シノリ紀犬紀犬養連養連○川原カハラノハラ

加尼カニ紀川紀川○土師甥ツチノシノリ紀土紀土師宿師宿

祢ネ○白猪寶然シロイノシロ紀寶紀寶然然○シノリ

猪使子首イノシロノミコ紀作猪紀作猪使連使連○三ミ

宅得許紀三 ○宮處王

○難波王 ○竹田王

○彌努王 上文美濃王三野王共同人

石川イシカハ蟲名朝臣 ○東

山 ○佐味少麻呂 味朝

○巨勢栗持 朝臣

○路迹見 紀路真人 ○南海

○佐伯廣足 紀佐伯宿祢

○山羊皮 ○東

間温泉 ○輕部足瀨

○高田新家 紀高田

○荒田尾麻呂 紀荒田尾連

○伯瀨王 ○巨勢馬

飼 紀巨勢朝臣 ○大角 ○小

角 ○弩枕 枕紀及軍防令作拋推古紀作

枕字典拋音砲軍中以機發石曰砲車按作枕者蓋拋之省作

枕者枕之誤史不可惜 ○白錦後苑

○周芳總領所

御窟殿 下文作御窟院訓同 ○國懸

○秦石勝 紀秦忌寸 ○大

内陵

持統天皇

○鷺野讚良皇女○

遠智娘○礪杵道作

○行心○田中法麻

呂紀田中○青飯朝臣○霜

林○伊勢王○守苻

田紀守○藤原大島紀

原朝臣○粟田真人紀粟田朝臣

○土師根麻呂紀土師宿祢

○大宅麻呂紀大宅朝臣

藤原史紀藤原朝臣○當麻

櫻井紀當麻真人○穗積山

守紀穗積朝臣○中臣麻呂

益須紀巨勢朝臣○大三輪

安麻呂紀大三輪朝臣○施基

皇子○佐味宿那麻

呂紀佐味朝臣○羽田齊紀

田朝臣齊○伊余部馬飼訓牟五閉

○薩弘恪○調老人

紀調忌寸○大伴手拍紀大伴宿祢

○柏原廣山○生部

虎紀生部連 ○武庫海 ○阿

提郡那耆野 ○身野

○高脚海 ○石川蟲

名紀石川朝臣 ○高田石成

○高天原廣野姬

天皇 ○物部麻呂紀麻呂朝

○中臣大島紀大島朝臣

○忌部色夫智紀忌部宿祢

○解部腋上陂

多治比島前作丹比者同人 ○大

伴部博麻類聚國史作博麻呂

筑紫史益按史例去加婆祿而史加婆祿也不

去者益按合者誤 ○釧 ○須波水

内神 ○長生池紀紀蘇不於殺生之

所依之宜訓伊伎波奈都 ○新益京音讀

○高宮 ○三輪高市

麻呂紀三輪朝臣 ○當麻智

德紀當麻真人 ○紀弓張紀朝臣

○布勢色布智紀布勢朝臣

○鹿島櫟樟紀麻呂島臣 ○菟

名足 ○衣縫王 ○上

百濟紀上村主 ○多武峯 ○

益須郡ヤスノ ○臺八島ウチノヤマト 紀紀

○都賀山ツカノヤマ ○羽衝ハツキ

○土羅羅女ツララメ ○更荒シラノ

郡コホリ ○刑部韓國コホリ 造刑部

○荒城郡アラキ ○弟國部オト

弟日オトヒ ○良琳ヨシリン ○文博フミヒコ

勢セ ○下諸田シモノソノタ 紀紀 諸田諸田

氏錄有上下口氏錄有上下口 ○小野毛野コノノモリ

紀紀 小野小野 ○伊吉博德イキハクタク 紀紀 伊伊

○菟田吉隱ウサダキカク ○二槻ニツキ

宮ミヤ ○風速郡カゼハヤシ ○物部モノベ

藥クサリ ○皮石郡カハシ ○壬生ニフ

諸石モロイシ ○皇孫珂瑠スメミマカ ○

當麻國見タギマノミ 紀紀 當麻當麻 ○路ミチ

迹見ミトミ 紀紀 路路 ○巨勢粟持コセノアヲ

紀紀 巨勢巨勢 ○常饗盜賊ヒタメ ○

大倭根子オホヤマトネ 天之廣野アメノヒロノ

日女尊ヒメノミコト ○大内山陵オホウチノヤマノミヤ

010190605804

